

平成29年度 第4回理事会 議事録

日 時 平成30年3月17日(土)13時30分～15時00分

場 所 北海道立総合体育センター 小研修室

出席者 生島典明、紺屋正雄、渋谷研一、大江憲一  
黒田謙二、印藤智一、田中昌幸、沓沢幸一  
丸山道博、浅野泰弘、櫻庭功一、碓井喜晴  
春間好実、家近昭彦、佐藤敏夫、川埜保幸  
鎌田勝広、西谷清之、関原榮司、志手典之  
宇野 要、松本秀樹、柴田一徳、奈良孝伸  
福原英典、松野清佳、阿部 豊、前田賢一、  
川村俊明、高坂 猛

1. 開 会

※総務委員長が、理事33名中28名の出席があり理事会は成立することを報告した。

2. 会長あいさつ

平成29年度事業も26日から始まる地区対抗中学生優秀選手選抜大会を残すだけとなり、おかげをもちまして諸事業はすべて無事終了しており、みなさんのご努力に感謝申し上げます。

今年度は、「ヴォレアス北海道」が、2017-18シーズンのVチャレンジⅡに初参戦で見事優勝を果たし、2018シーズンから始まる新しいV-LEAGUEでの活躍が期待される。今後とも広く道民に愛され、親しまれるチームになるよう、皆さんと共に応援したい。

また、先日小樽協会70周年記念式典が挙行され出席し、小樽の皆さんのこれまでのご功績に感謝し、今後共北海道協会を支えリードしていただくことをご祈念する。

さて今年度は、全日本マスターズ大会と2018世界選手権女子大会が9月から10月にかけて、さらに、2019ワールドカップ女子大会も札幌での開催となる。これら大会を成功に導くことで北海道のバレーボールを更に元気なものにすることは勿論のこと、ジュニア層の発掘や応援団の拡大にも繋がるものと確信しており、関係者の協力をよろしく願います。

これらビッグイベントだけでなく、新年度もそれぞれのカテゴリー、地域で多くの取り組みを控えており、本日の理事会では、当協会の課題解決に向けた平成30年度事業計画、会計予算を示しご議論いただくのでよろしく願います。

3. 議事録署名人に選出

※総務委員長より資料の確認と下記のように訂正の説明がある。

・全国・全道競技日程の4,5ページの修正

15番全日本小学生大会 南北海道予選会日程を7/7～7/8に変更。

23番天皇杯・皇后杯北海道ラウンドの日程は未定(空白)とする。

- 37 番スポーツ少年団交流大会の日程の予定を削除、全国大会は 3/28～3/31 大分市。
- ・指導普及委員会事業計画の 9 ページ<バレーボール教室・小学生>の修正
    - ⑩ ( ) 内「・日小連」を削除、期日：8 月 18 日(土)、会場：小樽市総合体育館 に変更
    - ⑪全国指導者第三次講習会、期日：9 月 23 日(日)～24 日(月) に変更
  - ・(3) 小学生競技大会関係の修正
    - ①北海道大会 7 月 7 日～8 日 に変更
    - ④会場 江別市・野幌総合運動公園総合体育館 に変更
  - ・10, 11 ページ平成 30 年度 一般会計予算(案)は先ほど配布した A3 版に差し替え

※以降は、規約に基づき会長が議長を務める

議事録署名人に生島会長の外、苫小牧協会西谷理事、櫻庭常任理事の 2 名を指名する。

#### 4. 協議事項

##### (1) 平成 30 年度協会運営の基本方針(案)について

渋谷理事長から説明があり、運営の基本方針は原案のとおり決定された。

##### (2) 平成 30 年度事業計画(案)について

各委員会から次の説明があり、事業計画は原案のとおり決定された。

###### ①総務委員会

- ・例年どおり各種会議を開催するほか、財政運営等、新 MRS 関係、国際大会、コンプライアンス強化、体罰・暴力・暴言などの根絶に取り組む

###### ②競技委員会

- ・各種会議を開催するほか、H30 は全日本スポーツマスターズ、世界選手権女子大会が 9 月に開催、H31 は東日本インカレ、全日本クラブカップ 6 人制男子、ワールドカップ女子大会が開催される。具体的取り組みではホームページのリニューアルについて説明がある。

H30 年度北海道バレーボール協会・全国大会競技日程の状況と説明がある。

###### ③審判委員会

- ・各種会議を例年通り開催のほか、審判員の発掘・育成では世界選手権女子大会に向け道内で 3 回の研修会、道外でも VIS 判定員及びラインジャッジ講習会に参加、次期 A 級審判員の候補に向けて B 級キャンプにも参加する。

###### ④強化委員会

- ・各種会議を例年通り開催のほか、中学生は JOC カップを中心に、高校生・成年は国体を目指した強化に取り組み、今年度から V チームを含めた、中学、高校、大学、成年をどのように関連づけて強化することの検討を行う。

###### ⑤指導普及委員会

- ・各種会議を開催、指導者研修会及びバレーボール教室、小学生、中学生と多岐にわたり事業を進めるとともに、体罰根絶を目指し 4/7 ジュニアキャンプ 1 次伝達講習会兼各地区推進委指導研修会で道教委から講師を招いて体罰根絶に向けた指導者研修会を開催する。

(3) 平成 30 年度一般会計予算・特別会計予算(案)について

総務委員長から、新年度予算には平成 29 年度の繰越金 50 万円を計上、収入は交付金で、天皇杯・皇后杯は 15 チーム以下の参加で 3 万円、U14 ブロック大会の 10 万円の交付金が復活し計上。賦課金は前年度の登録チームを参考にし、新年度はヤング連盟も他連盟と同じ対応とし各チーム 2 千円の賦課金。参加料は 29 年度実績の参加数で計上。支出は、事業費の大会交付金は天皇杯・皇后杯、U14 ブロックで 5 万円の増、大会参加料はすべて開催地に支出するほか、旅費の減額、助成費としてヤング連に 10 万円計上した。また、特別会計予算は特別事業等基金から世界選手権大会の運営費として 500 万円一時取崩して運営予算に充てる。協会・育成基金の支出の繰出金の説明。

<質疑>

○世界選手権大会の貸付とは

⇒日本協会の運営委託費で相殺されるため、日本協会から入金があるまでの一時運営費であり、入金後は全額を返金し、500 万以上の収入がある場合は協会・育成基金に積み上げる。

○天皇杯・皇后杯の交付金について

⇒昨年度は 20 チームの参加を見越し 8 万円を計上したが、参加が 12 チームのため交付金は 0 円となったが、今年度から 15 チーム以下の場合 3 万円交付に変更となった。

○U14 ブロック大会の交付金について

⇒3 年前より中止されていた日本協会からの大会交付金が各ブロックからの要望で今年度から復活した。

終了後⇒一般会計・特別会計予算案は原案通り決定された。

(4) 平成 30 年度定時評議員会の開催日程等について

総務委員長から説明があり、次の通り決定された。

定時評議員会

○日時 平成 30 年 5 月 19 日(土) 15 時 00 分～

○会場 北海道立総合体育センター内 北海きたえーる

○目的 平成 29 年度決算書等認定の件 ほか

評議員会に先駆けて、平成 30 年度第 1 回理事会を同日 13:30～、同会場で開催を予定する。

(5) 新 MRS 登録について

すでに加盟団体事務局に「MRS 登録の注意事項について」を配布し、3 月 19 日から受付開始となる。チーム登録について必要な設定をお願いします。各カテゴリー登録料内訳の内、北海道バレーボール協会の登録料(賦課金)は設定済み、各支部の登録料の設定は「0 円」をお願いします。メンバーの登録料の設定も「0 円」をお願いします。

役員、指導者、審判員登録については登録準備ができ次第改めて連絡する。

チーム登録、個人登録のフロー図は各支部登録料の設定に誤解を生じる可能性もあるので、フロー図を修正し再配布する。

新 MRS 登録について了承される。

<質疑>

○小学生の登録料について、まだ決定されていないとのこと

⇒従来300円の登録料が500円となっていたため、3/21の日小連会議で最終確認後連絡をする。

#### (6) 倫理委員会について

いままで倫理事案が無かったため報告がされていなかったが、2/17の常任理事会で倫理委員を決定し、前任者の北海道教育大学岩見沢校教授の山本理人氏、紺屋副会長、渋谷理事長、櫻庭常任理事の4名を委員とする倫理委員会を立ち上げた。倫理委員会は同日夕刻岩見沢で開催し、互選で山本教授が委員長となった。

<経過>

- ・1月に北海道バレーボール協会にチーム保護者から体罰があるとファックスの投書が届く。
- ・2/27に当該学校に出向き聞き取りを実施した。
- ・当該教諭は3月末まで部活動の指導から外れ、協会の役員も辞任している。

今後教育委員会等の結果も踏まえ倫理委員会を開き北海道バレーボール協会としての結論（処分）の通知することとする、その際は理事会で報告をする。

#### (7) その他

2018年日本スポーツマスターズ&女子バレー世界選手権 開催概要資料について、日本スポーツマスターズは北海道協会と札幌協会の共同で大会運営、2018女子バレー世界選手権大会は北海道協会、札幌協会、(株)北海道放送(HBC)で実行委員会を組織、実行委員長を北海道協会理事長となる。

2018女子バレーボール世界選手権大会について、3/14に日本協会、TBS、HBC、理事長、黒田副理事長と会場下見を終了した。

4/18に第1回実行委員会を開催予定。入場券の全国統一販売開始の前に関係者向けに先行販売を予定。参加国はトルコ、カナダ、中国、キューバ、ブルガリア、イタリアの6か国。

HBCと事前交渉した結果、開催地実行委員会役職別の役員構成案を報告し了承される。

日本スポーツマスターズでは第22回日韓スポーツ交流・成人交歓交流(派遣)として、5/9~16、韓国の全国生活体育大祝典の9人制女子に参加し、日本スポーツマスターズに韓国チームが参加する。

スケジュールは日本スポーツマスターズが9/13(木)の会場設営に始まり9/18(月)に終了。連休明け9/25(火)から世界選手権の会場設営が始まり10/5(月)に撤収し終了となる。

## 5. 報告事項

### (1) 日協関係

渋谷理事長より 3/13に現事務局長の林氏が3/31付けで退任し出向元のNECに戻り、八田専務理事が事務局長を兼任、女子強化委員長に寺廻太氏が就任する。

2/27に全国ブロック理事長会に出席し平成30年の日本協会事業計画案について、厳しい財政状況の中すべては2020に向けて、5つの施策ポイントについて報告がある。

ウェアの公認企業についてドーム、トンボ、フラスコ100ccの3社が追加された。

日本協会功労者表彰について黒田副理事長、大江副理事長を推薦していたところ、3/6付で決定通

知が届いた。表彰式は6/29の全国加盟団体代表委員総会時に合わせて表彰式が開催される。

(2) 各委員会関係

○総務委員会

平成30年3月3日付の2017年度国内競技会の危機管理マニュアルの内容と施設管理者の指示が優先のため大会前には施設管理者との綿密な協議が必要と説明がある。

○強化委員会

JOCカップの結果報告があり、男女とも予選リーグを1位で突破し、男子はベスト8、女子は2年連続でベスト16となった。優秀選手として男女1名ずつ選出され、その中で柿崎晃君が全日本の12名に選ばれオーストラリア遠征となった。

(3) その他

○競技委員会

・大会結果報告書の提出について要望などがあれば記載を願う。

6. 閉会

【次回：平成30年5月19日（土）13:30～ 北海きたえーる】

議事録署名人

会長

生島典明 

議事録署名人

西谷清之 

議事録署名人

榎庭工カ 